

2019年5月10日

各位

会社名 株式会社ジョイフル
代表者名 代表取締役社長 穴見 くるみ
(コード番号 9942)
問合せ先 常務取締役管理本部長 小野 哲矢
(TEL 097-551-7131)

子会社の通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失計上に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社フレンドリーが、本日、通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失計上に関するお知らせを公表いたしましたのでお知らせいたします。
なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微であります。

(添付)

別添：「通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失計上に関するお知らせ」
(2019年5月10日付の株式会社フレンドリー公表資料)

以上

2019年5月10日

各位

会社名 株式会社 フレンドリー
代表者名 代表取締役社長 小野 哲矢
(コード 8209 東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長兼経営管理部長
小椋 知己
(TEL 072-874-2747)

通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失計上に関するお知らせ

2019年2月8日に公表した2019年3月期の通期業績予想値と本日公表の実績値との差異、及び特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

2019年3月期通期業績予想数値と実績値の差異
(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想値(A)	6,864	△231	△221	△284	△111.36
実績値(B)	6,875	△209	△203	△454	△176.39
増減額(B-A)	11	22	18	△170	—
増減率(%)	0.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	7,250	△109	△96	37	21.76

1. 通期業績予想値と実績値との差異の理由

2019年3月期の業績において、売上高、営業利益、経常利益につきましては2019年2月8日に公表した業績予想値の通り推移いたしましたが、当期純利益につきましては、減損損失が予測値を上回ったことにより、前回発表より1億7千万円少ない△4億5千4百万円となりました。

2. 特別損失の計上について

2019年3月期通期決算において、当社で保有する事業用資産のうち、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっている店舗・物件について減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、2億2千2百万円であります。

以上